

屋久島の 魅力に迫る！

番外編



— 樹齢 300 年の紀元杉 —

ヤクスギランドを出発したのが 16 時過ぎ。あいにく小雨の天候で、暗くなるのも早いだろうという不安を抱えながら、車を走らせました。

舗装されてはいますが山道は細く、急カーブもたくさんあり、ナビに誘導されながら慎重に運転すること 20 分。到着はしたものの、雨が降ったり止んだり、森の奥深くのこのあたりは、もう薄暗くなっていました。



多く、10 種類以上も着生していることを紹介されて、とても楽しみにしてここまでやってきました。

しかし、すでに暗くなりはじめ、共存する姿をゆっくり鑑賞する時間がなく、日暮れの帰り道を急ぐことしました。

とても心残りでしたので、また紀元杉にも会いに来よう !! と思います。



『道路沿いにあるので、登山せずに気軽に見ることが出来る屋久杉』として、屋久杉自然館で紹介されていたとおりに、車道からも見ることができました。

あれっ？！先端の主幹は折れた状態、どこかの枯れ樹のように存在感が薄く、期待外れな感じを漂わせていましたが、階段を降り進むとこの樹の素晴らしい実感できました。

自然館でツツジやシャクナゲ、ヒノキ、スギ、ナナカマドなどの着生樹（普通の木が自分の力で光合成を行い、木の上で育っていること）がこの紀元杉には特に



NATURE DESIGN

岡崎製材株式会社

総務 杉浦 久枝